第49期総代会 「8議案を全て承認、片山和郎理事長が再任!」

広報担当常務理事 構田 晃-

新潟県税理士協同組合第49期通常総代会は6 月24日午後2時より、長岡市「ホテルニューオー タニ長岡」にて開催されました。田中常務理事 の司会のもと開会し、物故組合員・賛助会員に 対する黙祷を捧げ、次に笹川専務理事より来賓 の紹介が行われました。

続いて片山理事長より挨拶があり「第49期は 継続している円安、日経平均株価の上昇など景 気は安定してきたとの指標はあるものの、私た ちの主要なクライアントである中小零細企業ま では行きわたっていないことを多くの人は実感 しています。消費税等も8%へのアップを行い、 予定ではさらなる10%を目指したものの、結果 的に延期を選択したことはそのことを鮮明にし ております。政治は安定し、マインドは一定し、 同一業種の中での差別化が進み、個別企業ごと の業績は、イノベーションや創意工夫の実行い かんによりまだら模様となっております。その ような景況感のなか、新潟県税理土協同組合は 組合員および賛助会員にとって信頼されるに足 る組合となるべく事業活動を行い、より一層の 高みを目指す業務に邁進して参りました。第49 期業績は総額で11.805万円に達し、全ての主要 事業部門において増収となりました。費用面で





は、事務所訪問や職員への説明会のための費用 を新規に設け、また業務拡大のため裾野を広げ なくてはいけないことを真に感じまして、新潟 県税協の各地域へ参加することのみではなく、 各支部の税理士会例会に出向き、私たちの事業 を理解していただくように努力いたしました。 その結果、税引前利益で1.083万円を計上する ことができました。多額の納税となりましたが、 創立50周年記念事業を控えていること、私ども 新潟県税協が所有いたしております税理士会館 の敷地につきまして評価減が多額に見込まれる こと、また人材の確保に着手しなければならな いことなどに鑑み、自己資本の増加を目指し、 内部留保を充実することの選択を致しました。 めまぐるしく変化する経済環境の中で、より一 層の業績を上げられたのは、偏に組合員等皆様 からのご支援、ご協力の賜であり、心より感謝 いたします。」との謝意を述べました。

理事長挨拶につづき、司会者より定足数の報告があり、本総代会は適法に成立する旨の宣言が行われ、議長選出により新潟地域の若林正幸総代が議長に選出され、議事に入りました。

第1号議案 第49期事業報告及び財産目録、貸 借対照表、損益計算書並びに剰余 金処分(案)の承認を求める件

第2号議案 組合賦課金に関する件

第3号議案 役員報酬に関する件

第4号議案 第50期事業計画及び収支予算書

(見積損益計算書) (案) の議決を

求める件

第5号議案 借入金残高の最高限度額の議決を

求める件

第6号議案 組合員に対する貸付金残高の最高

限度額の議決を求める件

第7号議案 定款及び規約並びに規程の一部改

正の議決を求める件

第8号議案 任期満了に伴う役員改選に関する件

以上各議案を、執行部からの提案理由など説明の後議場に諮られ、それぞれ賛成多数により 承認可決されました。

議案が全て終了し議長退任の後、来賓祝辞を 関税協・大井副理事長、全税共・秋場副会長、 新潟県連・石月副会長より頂戴し、つづいて多 数の祝電が披露されました。 その後総代会は暫時休憩となり、別室にて開催された新役員による第1回理事会が行われ、 片山和郎理事長が再任されました。片山新理事 長は新執行部役員の紹介と共に、総代会において挨拶を行い、第49期通常総代会は午後4時15 分定刻通り終了しました。

会場を移し午後4時30分より、生保各社および関連企業の幹部多数をお迎えし懇親会が開かれました。富川専務理事の司会のもと、来賓紹介、新理事長挨拶がおこなわれました。次いでこの総代会をもって退任する関根副理事長、笹川専務理事、成田常務理事はじめ役員への表彰が行われました。その後来賓挨拶、乾杯と続き、そこで新役員の紹介が行われ祝宴に入りました。おいしい料理と酒に舌鼓を打ちつつ来賓、組合員等の歓談がつづき、懇親の宴は和やかなうちに、午後6時30分有意義な全日程が終了しました。







第49期貸借対照表

平成27年3月31日現在 (単位:千円)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金 額	科目	金 額
I 流 動 資 産	61,309	I 流 動 負 債	18,390
		Ⅱ 固 定 負 債	3,841
Ⅱ 固 定 資 産		負債の部合計	22,231
1. 有形固定資産	65,256	I 出 資 金	17,650
2. 無形固定資産	962	Ⅱ 資本剰余金	5
3. 外部出資その他の資産	6,375	Ⅲ 利益剰余金	94,016
固定資産計	72,593	1. 利益準備金	17,920
		2. 特別積立金	67,000
		3. 当期未処分剰余金	9,096
		純資産の部合計	111,671
合 計	133,902	合 計	133,902

第49期損益計算書

自 平成26年4月1日

至 平成27年3月31日 (単位:千円)

費用の部		収益の部	
科 目	金 額	科目	金 額
I 事業費用		I 事業収益	
1. 購販事業費用	7,053	1. 購販事業収益	16,936
2. 福利厚生事業費用	14,972	2. 福利厚生事業収益	41,051
3. 全税共事業費用	13,973	3. 全税共事業収益	40,173
4. 信用事業費用	0	4. 信用事業収益	24
5. 教育情報事業費用	16,502	5. 教育情報事業収益	5,299
6. 地域事業費用	8,415	6. その他事業収益	13,020
事業費用計	60,915	事業収益計	116,503
Ⅱ 一般管理費	45,944	Ⅱ 事業外収益	1,202
Ⅲ 特 別 損 失	357	Ⅲ 特 別 利 益	350
税引前当期純利益金額	10,839		
法 人 税 等	4,466		
当期純利益金額	6,373		
合 計	118,055	合 計	118,055

剰余金処分

自 平成26年4月1日

至 平成27年3月31日 (単位:円)

I当期未処分剰余金 1 当期純利益金額 6,373,728 2 前期繰越剰余金 2,722,530 9,096,258 Ⅱ組合積立金取崩額 270,000 1 利益準備金取崩額 270,000 Ⅲ 剰余金処分額 1 組合積立金 特別積立金 1,000,000 2 教育情報費用繰越金 2,000,000 3 創立50周年記念事業積立金 3,000,000 6,000,000

IV 次期繰越剰余金 3,366,258

役員名簿(平成27・28年度)

役職名	氏	名		
理事長	片山	和 郎	(三条地域)	
副理事長	角 谷	潔	(新津地域)	
	小 林	暉世	(新潟地域)	
	鈴木	和 彦	(長岡地域)	
専務理事	富川	拓 朗	(新潟地域)	
	田中	由起子	(三条地域)	
	北 村	啓 一	(巻地域)	
常務理事	三村	宰	(新潟地域)	
	牛 膓	康 則	(新潟地域)	
	横田	晃 一	(高田地域)	
	小 嶋	徹	(新潟地域)	
	真 嶋	静 雄	(小千谷地域)	
	吉 田	素 栄	(三条地域)	
	山田	康 人	(高田地域)	
	笠 輪	浩	(長岡地域)	
	真 島	一誠	(巻地域)	県連から
理 事	風 間	祐一郎	(新潟地域長)	
	姉 﨑	省 一	(長岡地域長)	
	佐 藤	久	(三条地域長)	
	土 田	茂	(柏崎地域長)	

役職	名	F	ŧ	í	<u>z</u>	
理	事	小	林	善	吉	(新発田地域長)
		杉	本	孝	子	(新津地域長)
		£ī.−	上嵐		誠	(小千谷地域長)
		大	\Box	康	幸	(十日町地域長)
		村	山		誠	(村上地域長)
		山	岸		博	(糸魚川地域長)
		髙	山	正	人	(高田地域長)
		高	井	小	文	(巻地域長)
		山	本	敏	彦	(佐渡地域長)
		永	野	道	雄	(新潟地域)
		今	井	彰	夫	(長岡地域)
		丸	山	晴	彦	(長岡地域) 県連から
顧	問	富	Ш	四	郎	(新潟地域)
		中	Ш		清	(新潟地域)
		田	中		重	(長岡地域)
		田	村	秀	男	(長岡地域)
		£ī.−	上嵐	秀	夫	(新潟地域)
監	事	杵	渕	_	夫	(小千谷地域)
		松	田		聡	(新潟地域)
		森	山	昭	彦	(柏崎地域)

業務分担表(平成27・28年度)

担 当部 門	担当業務・事業	副理	事長	専務理事	常務	理事	理	事
総務・渉外	総 務 地 域 日本税協連・関税協 全税共 税理士会県連・支部 関連団体	角谷小林	潔暉世	富川 拓朗 田中由起子	三村	宰		
経 理	経理・税務 (税務申告)	角谷 小林	潔 暉世	富川 拓朗	牛膓	康則		
信用・金融	組合員への小口貸付 自動車リース	鈴木	和彦	富川 拓朗	牛膓	康則		
広 報	会 報 ホームページ	角谷	潔	田中由起子	横田	晃一		
教育・情報	優良図書の配付 研 修	鈴木	和彦	田中由起子	小嶋	徹		
購 販	参考図書の販売 税理士領収書・税理士用箋 税務手帳・税務日誌 税のしるべ 日本税協連書籍ネット販売 ガソリン 税理士報酬自動振替制度・エコリサイクル	鈴木	和彦	田中由起子	真嶋	静雄		
保険	経営者保障 (関税協総合事業保障プラン・総合グループ保障)	角谷	潔	北村 啓一	山田	康人		
全税共	全税共の税理士代理店(Z 1・Z 2) 全税共の保険(VIP.年金等)	角谷	潔	田中由起子	吉田笠輪	素栄		
福利厚生	日本税協連生命共済 関税協退職金共済 あんしん財団共済 全税共所得補償保険 組合員弔慰金 親善ゴルフ大会 小規模企業共済及び中小企業倒産防止共済(セーフティ共済)	鈴木	和彦	北村 啓一	真嶋	静雄	今井	彰夫
事務局		角谷 小林	潔 暉世	富川 拓朗 田中由起子	三村	宰		

全税共業務推進協議会の報告

常務理事 真嶋静雄

連日の猛暑の中、平成27年8月6日ホテルラン グウッド新潟において、新潟県全税共業務推進 協議会が開催されました。

協議会は、新潟県税理士協同組合から片山理事長をはじめ理事・地域長・業務推進委員の47名、提携保険会社から11社23名、また早川関税協副理事長、高野新潟県連会長をはじめ多数のご来賓の方々にご出席いただき、新潟県税理士協同組合の顧問及び監事の方々のご陪席の中で始まりました。

冒頭に片山理事長から、「今回は全税共第30回記念全国統一キャンペーンと新潟県税理士協同組合設立50周年という節目の年であり、この協議会での議事をキャンペーンに向けての決意表明とし、キャンペーンが見事成功することを祈念します」との挨拶がありました。

協議事項及び報告事項として、先ず、株式会 社日税ビジネスサービスの森田企画開発部長より、平成26年度の協同組合別実績表、保険会社 別実績表の説明があり、過去3年間の保険料収 入状況等について全国との比較による丁寧な説 明がありました。

続いて、全税共担当笠輪常務理事による第30回記念全国統一キャンペーン実施要領の表彰基準等の説明があり、その中で「今年は『県税協50周年特別賞』、『第30回記念特別賞』等の特別賞が新設されておりますし、他多数の賞が揃っています」と紹介されました。表彰式は平成28年2月4日ホテルオークラ新潟で行われます。

また、全税共担当吉田常務理事による Z1、 Z2キャンペーンの実施要領の表彰基準等の説 明があり、こちらも同様に多数の賞が揃ってい ると紹介されました。

次に、各地域長より今年の業務推進計画について概要等の発表があり、地域で行われる業務推進会議では、組合員と提携保険会社営業職員の交流と信頼関係構築の場となっていることが紹介され、続いて、提携保険会社からキャンペーンに向けての、推進方策等の発表と自社商品の説明がありました。





終わりに、来賓挨拶として早川関税協副理事 長、髙野新潟県連会長、幹事会社挨拶として上 村朝日生命相互会社本社全税共推進部業務推進 部長、河内第一生命株式会社新潟支社課長より 挨拶を頂き協議会は無事終了致しました。

私たち組合員・賛助会員はリスクマネジメントや節税対策等、様々な場面で生命保険を活用し、関与先の繁栄に貢献する事も、大切な役目の一つであり、その時は全税共提携保険会社、税理士協同組合を活用していただきますようお願い致します。それが提携保険会社との共栄を図ることになり、延いては新潟県税理士協同組合の収入になり、組合員・賛助会員のほか、税理士会新潟県連にも共催事業等として還元する

ことができます。

どうぞ組合員・賛助会員皆様のご協力を宜し くお願い申し上げます。

2015年4月1日

「アイエヌジー生命保険株式会社」は 「エヌエヌ生命保険株式会社」へ 社名変更いたしました。

私たちは中小企業とその経営者が 財務や財産の面で 安定した将来を確保できるよう支援します。



エヌエヌ生命

Z2キャンペーンについて

常務理事 山田 康人

日頃は新潟県税理士協同組合の全税共VIP 代理店部門に御理解と御協力を賜り誠にありが とうございます。さてZ2キャンペーンとは何 ぞや?と思われる方が多いかと思います。

先ず全税共とは全国税理士共栄会のことを言います。 Z1とは税理士会会員が提携保険会社の税理士 VIP代理店登録して頂くということ。 Z2とは税理士 VIP代理店の方々に挙績して頂くということです。したがって先ず代理店登録して頂かなくてはなりません。

始めに、Z 1キャンペーンについて説明させていただきます。新規に代理店登録頂いた税理士会会員の方に全税共及び県税協より10,000円のギフトカードを贈呈させて頂いております。また県税協独自のキャンペーンとして、乗合登録をされた代理店にも1社につき10,000円のギフトカードを贈呈。また、紹介申請カードを用いて新規代理店登録が見込まれる方や乗合登録が見込まれる方を紹介して頂いた方には、登録完了の場合には10,000円のギフトカード、登録に至らなかった場合でも1,000円のギフトカードを贈呈させて頂きます。是非ともご登録・ご紹介を宜しくお願い申し上げます。

さて本題のZ2キャンペーンですが、くどい様ですが、Z2とは税理士VIP代理店の方々に挙績して頂くということ。その為に全税共と新潟県税協は様々なキャンペーンを実施させて頂いております。

1. 対象期間が平成27年7月1日~12月31日の 22キャンペーン。

挙績された契約の月額保険料に応じ下記の 賞品を贈呈。全税共と県税協の賞は重複して 受けることが出来ます。

【全税共】

ドリームA賞 10万円ギフトカードドリームB賞 5万円ギフトカード

【新潟県税協】

ときめき賞 20万円ギフトカード 朱鷺 A 賞 10万円ギフトカード 朱鷺 B 賞 5 万円ギフトカード

2. 対象期間が平成27年4月1日~平成28年3月 31日の新潟県税協独自のZ2キャンペーン年間賞。

挙績された契約の月額保険料に応じて下記 の賞品(ギフトカード)を贈呈。この賞は上 記1と重複受賞が出来ます。

金こしひかり賞20万円相当銀こしじわせ賞15万円相当銅こしいぶき賞10万円相当パールゆきのせい賞5万円相当クリスタルなごりゆき賞1万円相当

3. 新潟県税協独自の Z 2 連続挙績キャンペーン。期間は平成27年4月1日~平成28年3月31日まで。

この賞は2ヶ月連続の挙績で5,000円のギフトカードを贈呈、さらにその後連続するごとに5,000円のギフトカードを贈呈させて頂くというもの。12ヶ月連続挙績の場合には55,000円のギフトカードの贈呈となります。なお、挙績額は問いません。

4. 年度末特別キャンペーンも実施予定。期間 は平成28年2月1日~3月31日。

挙績して頂いた契約の月額保険料 (努力賞 は契約件数5件以上)に応じ下記の賞品を贈呈。

【全税共】

ダイヤモンド賞	30万円ギフトカード
ゴールド賞	20万円ギフトカード
シルバー賞	10万円ギフトカード
ブロンズ賞	5万円ギフトカード
努力賞	1万円ギフトカード

【新潟県税協】

信濃川賞	5万円ギフトカード
阿賀野川賞	2万円ギフトカード